

地域美産研究会ニュース No.88

発行：平成 24 年（2012 年）9 月 8 日

第 88 回催事 地域美産研究会

『野田の町を美産（散）策』

実施期日：平成 24 年 9 月 8 日（土）

「野田」は醤油醸造で栄えた（ている）町です。皆さんが良くご存知の「キッコーマン醤油」の町でもあります。原料である大豆の収穫地が近かったこと、江戸という一大消費地を近くに抱え、水運を利用して次第に業界内で優位に立ち、現在にいたります。

醤油や日本酒などの醸造業を始めるには昔から大きな資本が必要で、名主や庄屋を努めていた家が始めています。「キッコーマン醤油」も高梨一族と茂木一族の 8 家がそれぞれ別々の銘柄で製造販売していたものを、明治 20 年に合同でつくった「野田醤油」によっています。

少し交通の便が悪いところではありますが、ご都合のつく方のご参加をお願いいたします。

今回は探訪会後の交歓会は実施しませんが、昼食で地元の味をご堪能ください。



興風会館



上花輪歴史館（高梨家）

おもな探訪予定コース

野田商誘銀行（千秋社）・興風会館（大森茂設計）・須賀神社・香取神社・上花輪歴史館（高梨家）・茂木本家美術館・キッコーマンもの知りしょうゆ館・野田市郷土資料館（山田守設計）・野田市民会館（旧茂木佐平治邸）

企画・案内 渡辺久剛(わたなべ・ひさよし)

地域美産研究会世話人。

古い民家や町並みから最新の建築物まで守備範囲は広い。町歩きのご案内実績は谷根千のほか、行田や北千住など日光街道の旧宿場町。その他の趣味は民俗芸能・銭湯めぐり、そして深い居酒屋さん探検。

第88回催事 『野田の町なかを美産（散）策』

探訪会

日 時	平成24年9月8日（土）10：30～16：30 頃迄（雨天決行）
集合時間・場所	10：30 東武鉄道 野田線 野田市駅 改札出口 集合
探訪コース（予定）	野田商誘銀行（千秋社）・興風会館・須賀神社・香取神社・上花輪歴史館・茂木本家美術館・キッコーマンもの知りしょうゆ館・野田市郷土資料館・野田市民会館（旧茂木佐平治邸）
案内と解説	渡辺久剛
参加人数	15名（会員優先）（事前予約必要）
探訪会等の参加費	3ページ参照
個人費用負担	上花輪歴史館 茂木家本家美術館（探訪会費に含む）
遅刻等の連絡	090-8648-5896（渡辺）

今回の見どころ

場 所	見 どころ
上 花 輪 歴 史 館	江戸時代、上花輪村（現千葉県野田市上花輪）の名主であり醤油醸造を家業としていた高梨兵左衛門家の屋敷を保存公開している博物館です。住宅部をお茶付きで内覧します。（庭園散策および展示棟見学も含まれます。）住宅内の障子は御簾や夏障子に替えてあり、夏の風情を楽しむことができます。
茂 木 本 家 美 術 館	美術館の創立者十二代茂木七左衛門は、美術品収集を趣味としており、多くの方々に鑑賞していただきたいと2006年1月に開館されました。お庭を眺めながら、食事をお楽しむことが出来、お食事は野田で評判のおすし屋「久田家」と蕎麦屋「こな金」のコラボレーションとなっています。*今回の昼食は美術館内で取ります。

第88回催事 「野田美産会」参加申込書

記入日：2012年 月 日

① 9月3日(月)迄にこの申込書をメール、FAX(0480-35-1358)、郵送で。

ふりがな		性別	男・女	年齢	才	
氏名		職業				
住所						
生年月日	大正/昭和 (西暦)年 月 日					
会員資格	①会員 ②家族会員 ③法人会員 ④学生会員 ⑤一般(非会員) ⑥地元関係者					
Tel(自宅)		Fax				
Tel(携帯)		e-mail				
②家族会員と③法人会員は、2名まで当該会員料金で参加可能。						
ふりがな		性別	男・女	年齢	才	
氏名		職業				
ふりがな		性別	男・女	年齢	才	
氏名		職業				

② 参加記入欄(該当金額欄に○を付けて下さい)

	1 探訪会	2 交歓会	3 寄付(任意)	4. 合計
会員	5,000			
家族会員(1名分)	5,000			
法人会員(1名分)	5,000			
家族/法人会員の+1名	5,000			
*学生と地元関係者	5,500			
一般(非会員)	6,000			

参加申込と受付 会員優先で申込先着順とします。以下の申込手続きに従って申し込んでください。

1. 参加申込欄の記入事項欄に必要事項を記入し、メールかファックス又は郵送で事務局へ。
2. 事務局から参加枠確保の連絡を受けて、指定振込口座
(みずほ銀行 虎ノ門支店 店番号046 普通口座 口座番号 4053204 地域美産研究会 会計 渡辺久剛)に貴方の参加料金を振込料自己負担で振り込み。
3. 振込み無き場合は貴方の参加枠を喪失します。
4. 振込み済み料金払戻し；主催者側瑕疵の場合を除き払戻不可。
5. **申込締切日：9月3日(月)**
6. 探訪会の傷害事故補償：美産会が費用負担する三井住友海上「普通傷害保険」で補償。
7. 郵便宛先：345-0804 埼玉県宮代町川端 4-2-5 渡辺久剛 電話/FAX:0480-35-1358
8. メールアドレス：wata1344@viola.ocn.ne.jp

③ 貴方の振込金額(上欄○印金額の合計を記入)： ¥ _____ 円

Public Art Forum 地域美産研究会とは

日頃人々が生活する場に創り遺された地域の社会美産*たちを、専門家と一緒に現地に訪ね、歴史と文化、地域性や国際性、美や技、景色などの視点から眺めて味わい、地域の魅力を再発見・再評価する。

(※社会美産と地域美産：パブリックアートの視点を広げる為の新造語)

地域の魅力再発見・再評価を通して、改めてその土地ならではの歴史や暮らしに愛情・尊敬・誇りを感じ、心の充実安心を得て、自分づくり、家族との絆づくり、仕事づくり、会社づくり、街づくり、国づくりに役立つ何かを見付けながら、仲間達との交歓を楽しむ会員制非営利任意団体です。

会員入会者・催事参加者は、学生・社会人・各分野の専門家など時には外国人を含む幅広い人々が分け隔てなく参加して、各人ならではの参加意図に適った充足感を味わっています。

地域美産研究会は、街づくり景観づくりに関係する地方自治体や都市デザイン・アート分野の人々が集い活動した「パブリックアート・フォーラム」(平成6年～13年、代表幹事 田村 明)を継承した会で、非会員の方々も活動に参加できます。



Public Art Forum 地域美産研究会 設立のきっかけ

パブリックアート・フォーラムは、平成14年(2002)12月迄の過去10年間、美術館から街中に出て、各地の街角や広場に設置された彫刻に代表されるパブリックアートたちに焦点を合わせて、もっぱら欧米におけるそれらの役割・効果を調べて、普及・研究活動を行ってきました。

その後、米国のパブリックアート著名作家 マヤ・リンが、伊勢神宮を日本の優れたパブリックアートとして挙げたこと、環境美学研究家バーバラ・サンドリッセがその著述「パブリックアートとしての鳥居、その不思議な魅力(2000年刊)」で、日本の鳥居をパブリックアートとして大変高く評価したこと、平成13(2001)年、女史の来日を記念して開催した特別フォーラム「バーバラ・サンドリッセと都心の鳥居を探訪し、女史の話を聞く会」での体験が、パブリックアートに対する私達の視点を大きく広げて、新しい活動を促しました。

私たちがごく身近に古くから在って、地域の生活と密接に係わりながらその地の生活文化を創り育て、人々の心の拠り所になってきた、その地ならではの美しき良きモノたちを、従来型のパブリックアートを含めて現地に訪ね、肌で味わい評価する。

それらの再発見・再評価を通じて、地域の暮らしと歴史に愛情・尊敬・誇りを感じ、心の充実・安寧を得ながら次代を生き抜く力とする。「Public Art Forum 地域美産研究会」(昨年度迄は「地域美産研究・探訪会」)は、このような主旨から平成14年12月1日に設立された活動団体です。



運営： アドバイザー・会員等の意見・提言を受けて「世話人会」が運営を担う。

(1) 世話人会

創業者／相談役	杉村 荘吉	(パブリックアート研究所代表)
代 表	藤嶋 俊會	(美術評論家)
副 代 表	伊豆 井秀一	(埼玉県立近代美術館専門員兼学芸員)
世 話 人	石村 誠人	(駅・街デザインとパブリックアート研究家)
	渡辺 久剛	(会計：三井不動産ビルマネジメント(株))
	橋本 完	(アート・インキュベータ：アトリエまほろ主宰)
	渡部 伍郎	

(2) アドバイザー	宝利 修	(ITアドバイザー：ぶんか合同会社プランナー)
	加藤 源	(都市計画設計家、日本都市総合研究所代表)
	後藤 元一	(環境設計家、元札幌市立高専教授)
	建畠 哲	(美術評論家、埼玉県立近代美術館館長)
	山岡 義典	(市民社会創造ファンド 運営委員長)